

患者さんへ

「骨折・骨癒合不全・外傷後骨髄炎の臨床経過」

の調査研究について

神戸大学医学部附属病院整形外科では、平成12年1月1日以降に骨折・骨癒合不全・外傷後骨髄炎の治療を受けた患者さん（現在入院中の患者さんおよび既に退院した患者さん）を対象に「骨折・骨癒合不全・外傷後骨髄炎の臨床経過」について調査研究を実施しております。内容については下記をご覧ください。

また、この調査研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております[\[問い合わせ窓口\]](#)までご連絡ください。

[研究概要および利用目的]

神戸大学医学部附属病院整形外科では、手術を要する骨折・骨癒合不全・外傷後骨髄炎の患者さんの治療を、入院患者さんを対象として行っています。

骨折治療には内固定、外固定、創外固定といった固定方法が適用されますが、近年多種多様な固定用インプラントが開発されています。神戸大学医学部附属病院整形外科では時代に即した最先端の固定用インプラント・創外固定器を用いた治療を行っています。

また、骨折治療には合併症として、骨折が治癒しない骨癒合不全や、感染を併発することで外傷後骨髄炎という難治性病態があります。神戸大学医学部附属病院整形外科では、他院で治療を受けこれらの難治性合併症を生じたため紹介されてくる患者が相当数いらっしゃいます。

これらの治療を行った患者さんの臨床経過を顧みてその治療成績を検討し、今後の治療の更なる発展へと繋げることが本研究の目的です。

[取り扱うデータ]（患者さんのカルテ及び検査画像等から下記データを収集します。）

性別、年齢、身長、体重、既往歴、生活習慣、治療経過

X線検査、CT検査、MRI検査、RI検査、エコー検査：骨折の臨床経過、治療過程を調査します。

血液検査、細菌培養検査、病理組織検査：感染、骨髄炎の臨床経過、治療過程を調査します。

[個人情報保護の方法]

個人情報、検査結果などの記録、保管は第三者が直接患者さんを識別できないよう登録時に定めた登録番号を用いて匿名化して行います。また収集した資料は、インターネットに接続していない外部記憶装置に記録し、神戸大学大学院医学研究科整形外科学研究室の鍵のかかる保管庫に保管します。

[研究参加による利益・不利益]

利益・・・本調査に参加いただいた患者さん個人には特に利益と考えられるようなことはありませんが、調査結果が骨折・骨癒合不全・外傷後骨髄炎の治療の向上に寄与する可能性があります。

不利益・・・診療記録からのデータ抽出のみのため、特にありません。

[研究終了後のデータの取り扱いについて]

研究終了後には、データは、患者さん個人を特定できない状態にして廃棄します。

[研究成果の公表について]

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報が明らかになることはありません。

[研究参加の取り止めについて]

いつでも可能です。参加を辞退されたい場合には、下記[問い合わせ窓口]までご連絡ください。参加辞退の希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

[問い合わせ窓口]

この研究についてのご質問だけでなく、ご自身のデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、あるいはご自身のデータの使用を望まれない場合など、この研究プロジェクトに関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせ下さい。

神戸大学医学部附属病院整形外科

特命講師 新倉 隆宏

連絡先：078-382-5985